

1477

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJデータアーカイブ

調査名 刑事分野弁護士活動の高度化と多様化に関するウェブ調査, 2020

寄託者(寄託時) 刑事分野弁護士活動研究会

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

デフォルトの質問ブロック

「弁護士活動全体における刑事分野の位置づけに関する調査」回答ページ

<ご記入にあたってのお願い>

- ・「弁護士活動全体における刑事分野の位置づけに関する調査」にご協力いただきありがとうございます。心より感謝いたします。
- ・回答見込み時間は30分から40分程度です。どうぞよろしく申し上げます。
- ・ご記入は、すべて封筒のあて名の先生ご自身をお願いします。
- ・先生ご自身のことについて立ち入ったこともお聞きしますが、統計的に処理することが目的で他の目的に用いることは決してありません。
- ・回答の内容は匿名化されたデータのみ当研究会が受け取ります。
- ・画面に表示される質問に順番にお答え下さい。
- ・最後の質問番号は問51となっています。終了するまでは、いったん中断されても途中から再開することができますので、むにとぞお答終了のメッセージが出るまでお答をお願いします(なお、再開する場合は開始したのと同一のPCまたはスマホで、並びに同一のブラウザでお願いします)。
- ・若干の質問では回答内容に論理的に一貫性を欠く場合、先に進めないようになっていますので、ご留意ください。

- ・お忙しいところ恐縮ですが、4月18日(土)までにご回答ください。
(次のページに続く)

<謝礼送付先記入のお願い>

調査ご協力のお礼として些少で恐縮ですが、2,000円分のAmazonギフト券と調査結果概要を2020年夏頃を目処にお送りさせていただきます。調査の最終ページにリンクされている調査委託会社が設定したサイトでご氏名と電子メールアドレスをご記入ください。(ご記入いただいた情報は謝礼と報告書をお送りする目的でのみ利用するもので、ここでの質問へのあなたの回答と照合することはできないようになっています。)

<面談依頼のお願い>

刑事事件にかなりの時間を費やしている回答者の方には、もし可能であれば面談でお話を伺いたく思います。面談に応じていただけるのであれば、調査の最終ページにリンクされている調査委託会社が設定したサイトでご氏名と電子メールアドレスをご記入いただければ幸いです。(ご記入いただいた情報は、こ

らからの連絡用のみ使用するもので、ここでの質問へのあなたの回答と照合することはできないようになっています。)

・本研究の内容および本調査実施に関するお問い合わせは、下記へお願いします。

電話・ファクス：

電子メール：

・調査委託機関

(調査依頼発送・名簿管理・謝礼および報告書送付情報管理・面談依頼連絡用情報管理)

般社団法人 中央調査社

ブロック 1

問1. あなたが2019年1月～12月を通じて弁護士登録をしていたかどうかをお尋ねします。弁護士登録をしていた場合には「1」を選んで問2以下の質問にお答えください。登録をしていなかった場合には「2」を選んでください。

- 1 はい
 2 いいえ

ブロック 39

この質問は「2019年1月～12月を通じて未登録、または弁護士業務に従事していなかった」と回答された方のみお答えください。あなたが、2019年に未登録、または弁護士業務に従事していなかった理由は、次のどれですか。当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 年齢上の理由
 2 健康上の理由
 3 家事や育児、介護に専念するため
 4 学業や研究に専念するため
 5 弁護士以外の事業や経済的活動に専念するため

- 6 公職に就いているため
- 7 弁護士として活動しても依頼が少ないため
- 8 弁護士の仕事に情熱がもてないため
- 9 その他（具体的に記入してください）
- 10 とくに理由はない

- 1 ある
- 2 ない

問2-1-1. あなたの配属先の本店または支店の弁護士数は何人ですか。

人

問2-2. 問2.で、2019年12月31日現在の「あなたの事務所」が、「7」（外国法共同事業事務所）、または「8」（一般的法律事務所）、と回答された方にお聞きます。

あなたの事務所の弁護士数は何人ですか。

人

ブロック2

問2. 2019年12月31日現在の「あなたの事務所」は次のどれですか。（ここで「あなたの事務所」とは、弁護士法21条にしたがって届出をしている法律事務所を意味します。）当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 ひまわり基金事務所
- 2 都市型公設事務所
- 3 法テラス法律事務所
- 4 企業内
- 5 官庁または自治体内
- 6 弁護士法人
- 7 外国法共同事業事務所
- 8 上記以外の一般的法律事務所
- 9 その他（具体的にご記入ください）

問2-1. 問2で、2019年12月31日現在の「あなたの事務所」が、「6」（弁護士法人）と回答された方にお聞きます。

(1) あなたの所属する弁護士法人全体の弁護士数は何人ですか。

人

(2) あなたの所属する弁護士法人には本店と支店がありますか。

ブロック3

問3. 問2で「1」「2」「6」「7」「8」を選んだ方（法テラスおよび組織内弁護士以外の方）にお聞きます。「あなたの事務所」の経営形態は次のどれですか。当てはまる番号を1つ選んでください。

（注）「経費共同」とは、弁護士報酬が各経営者弁護士に属し、各自がその収入の中から事務所経費を分担拠出する形態。「収入共同」とは、弁護士報酬が事務所に属し、その中から事務所経費等の支出を差し引いた残りが収益として各経営者弁護士に分配される形態。

- 1 個人経営
- 2 経費共同タイプ
- 3 収入共同タイプ
- 4 法人経営
- 5 その他（具体的にご記入ください）

問3-1. 問3で「1」（個人経営）「2」（経費共同）「3」（収入共同）を選んだ方にお聞きます。あなたは、「あなたの事務所」の中で次のどの地位におられますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

（注）「軒弁」とは、何らかの事務所には所属しているが、当該事務所から給与を支給されていない者を意味します。

- 1 法律事務所の経営者弁護士
- 2 法律事務所の「客員」弁護士
- 3 法律事務所の非経営者弁護士でいわゆる「軒弁」でない者
- 4 法律事務所のいわゆる「軒弁」

問3-2. 問3で「4」（法人経営）を選んだ方にお聞きます。あなたは、「あなたの事務所」の中で次のどの地位におられますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

（注）「軒弁」とは、何らかの事務所には所属しているが、当該事務所から給与を支給されていない者を意味します。

- 1 弁護士法人の代表社員弁護士
- 2 弁護士法人の社員弁護士（代表権なし）
- 3 弁護士法人の「客員」弁護士
- 4 弁護士法人の使用人弁護士
- 5 弁護士法人のいわゆる「軒弁」

ブロック4

問4. 問2で「1」「2」「6」「7」「8」を選んだ方（法テラスまたは組織内弁護士以外の方）にお尋ねします。「あなたの事務所」は、2019年1月1日～12月31日に、次の媒体を利用して業務の広告または情報提供を行いましたか。当てはまるものすべてを選んでください。

- 1 新聞・雑誌
- 2 テレビ・ラジオ
- 3 電車・バス内・駅構内の広告

- 4 ネット上でのリスティング広告などのネット上のサイト広告
- 5 事務所のホームページ
- 6 日本弁護士連合会の「ひまわりサーチ」
- 7 弁護士の任意団体が開設したウェブサイト（具体的に記入してください）
- 8 民間団体・企業が運営している法律事務所・弁護士情報提供サイト（具体的に記入してください）
- 9 その他のインターネット利用（具体的に記入してください）

問4-1. あなたの事務所は、2019年1月1日～12月31日に行った広告または情報提供において、「事務所について」下記の広告または情報提供を行いましたか。当てはまる番号を選んでください。（2・3・4については複数選択可）

- 1 刑事弁護の取り扱いについて全く記載しなかった。
- 2 刑事弁護が取扱い業務分野の1つであることを記載した。
- 3 刑事弁護に注力していることを記載した。
- 4 刑事弁護が専門であることを記載した。

問4-1-1. あなたの事務所は、2019年1月1日～12月31日に行った広告または情報提供において、「あなたについて」下記の広告または情報提供を行いましたか。当てはまる番号を選んでください。（2・3・4については複数選択可）

- 1 刑事弁護の取り扱いについて全く記載しなかった。
- 2 刑事弁護が取扱い業務分野の1つであることを記載した。
- 3 刑事弁護に注力していることを記載した。
- 4 刑事弁護が専門であることを記載した。

ブロック5

問5. 問2で「1」「2」「6」「7」「8」を選んだ方（法テラスまたは組織内弁護士以外の方）にお尋ねします。あなた自身は、2019年1月1日～12月31日に、次の媒体

を利用して業務の広告または情報提供を行いましたか。当てはまる番号すべてを選んでください。

- 1 新聞・雑誌
- 2 テレビ・ラジオ
- 3 電車・バス内・駅構内の広告
- 4 ネット上でのリスティング広告などのネット上のサイト広告
- 5 事務所のホームページ
- 6 日本弁護士連合会の「ひまわりサーチ」
- 7 弁護士の任意団体が開設したウェブサイト（具体的に記入してください）
- 8 民間団体・企業が運営している法律事務所・弁護士情報提供サイト（具体的に記入してください）
- 9 その他のインターネット利用（具体的に記入してください）

問5-1. あなたは、2019年1月1日～12月31日に行った広告または情報提供において、「あなた自身について」下記の広告または情報提供を行いましたか。当てはまる番号を選んでください。（2・3・4については複数選択可）

- 1 刑事弁護の取り扱いについて全く記載しなかった。
- 2 刑事弁護が取扱い業務分野の1つであることを記載した。
- 3 刑事弁護に注力していることを記載した。
- 4 刑事弁護が専門であることを記載した。

ブロック6

問6. あなたは、法律事務所・弁護士に関する広告・情報提供について、インターネットを利用することの効果と弊害について、どのようにお考えですか。下記の(1)から(6)のそれぞれの項目について、当てはまる番号を1つ選んでください。

	1 とても大きい	2 大きい	3 どちらともいえない	4 小さい	5 とても小さい
(1) 弁護士の有用性を社会に知らせる効果	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 自分の事務所あるいは自分自身に関する情報を広く提供する効果	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 自分の事務所あるいは自分自身に対する依頼を引き付ける効果	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 弁護士という職業について誤解を与える弊害	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 当該法律事務所あるいは弁護士に関して誇大広告を行う弊害	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 不適切な事務所あるいは弁護士が依頼者を引き付ける弊害	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ブロック7

問7. あなたは、今後、広告・情報提供のために、インターネットの利用を積極的に行いたいと考えていますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 そう考えている
- 2 どちらかといえばそう考えている
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば考えていない
- 5 考えていない

ブロック8

問8. あなたは、2019年1月1日～12月31日を通じて弁護士業務に従事していましたか。
 (ここで「弁護士業務」とは、ご自身による「弁護士法3条の法律事務取扱い」、「他の弁護士の法律事務取扱いにたいする支援・補助の活動」、並びに「事務所の管理・運営」の全てを含みます。)

- 1 はい
 2 いいえ

ブロック 9

問9. 2019年1月1日～12月31日を通じて弁護士業務に従事された方すべてに対して、弁護士としての活動時間についてお伺いします。

2019年1月1日～12月31日におけるあなたの週あたりの活動時間はならしておよそ何時間になりますか。

1週あたりおよそ 0 時間

ブロック 10

問10. 2019年1月1日～12月31日の間のあなたの弁護士としての年間活動時間の総計を100%としたとき、下記の(1)から(6)の各業務または活動にあてられた時間の割合はどれくらいになりますか。全体が100%になるようにそれぞれの割合(パーセンテージ)をお答えください。

*該当しない箇所は「0」を記入してください。

(1) 通常業務 ※依頼者のための正規の報酬による法サービス ※組織内弁護士の組織のための仕事を含む	0
(2) 法テラス業務 ※法律扶助、刑事国選業務等(日弁連から法テラスへの委託業務を含む)	0
(3) 公益業務 ※依頼者のための無報酬、低報酬で行う活動	0
(4) 弁護士会に関する活動 ※委員会活動の他、研修参加も含む	0

(5) 事務所の経営管理のための活動 ※事務所の人事や予算構成などの仕事	0
(6) その他の活動(具体的に記入してください) ※教育、講演、司法、行政、企業などの諸組織の非常勤職など	0
合計	0

ブロック 11

問11. 問10.の1「通常業務」、2「法テラス業務」、3「公益業務」を合わせて考えていただいたうえで、2019年1月1日～12月31日の間に、あなたは下記の①～⑩の業務類型のそれぞれに、どれだけの時間を費やしましたか。「通常業務」「法テラス業務」「公益業務」の処理に要した時間全体を100%として、そこに占めるおおよその割合(パーセンテージ)でお答えください。該当しない箇所は「0」を記入してください。

(注)ここで中小企業と大企業の区別は、資本金3億円もしくは常勤従業員数300人を基準としてご判断ください。

昨年1年間に「通常業務」「法テラス業務」「公益業務」に費やした時間全体を100%として、その分野の業務に費やした時間の割合

民事・行政分野	
① 個人依頼者	0
② 中小企業依頼者	0
③ 大企業依頼者	0
④ 官公庁依頼者	0
⑤ その他の依頼者	0
刑事分野	
⑥ 国選弁護	0
⑦ 私選弁護	0
⑧ 国選付添い	0
⑨ 私選付添い	0
⑩ 国選被害者支援	

⑪ 私選被害者支援	0
⑫ その他の刑事分野（具体的に記入してください）	0
合計	0

ブロック 11-1

問11-1. あなたは（⑥～⑫の合計が0%）、刑事事件に全く時間を費やしていませんが、その理由として下記の各事項はどの程度当てはまりますか。それぞれについて当てはまる番号を1つ選んでください。

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
(1) 依頼がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 興味・関心がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 自分に向いていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 成果をあげることが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(所属事務所の性質上、刑事弁護は担当できない)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 所属事務所では、刑事弁護は不可能ではないが、奨励されていない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) 他の業務分野で多忙である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 採算が取れない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9) 弁護士すべてが担当すべき義務ではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10) 理由は無い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(11) その他の理由（具体的に説明してください）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問11-1-2. あなたは（⑥～⑫の合計が25%以上）、刑事事件にかなりの時間を費やしていますが、その理由として下記の各事項はどの程度当てはまりますか。それぞれについて当てはまる番号を1つ選んでください。

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
(1) 依頼がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 人権問題として興味・関心がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 必要とされる数について興味・関心がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 自分に向いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 成果をあげることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 所属事務所では、刑事弁護が必須とされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(所属事務所では、奨励されている)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 他の業務分野が少ない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9) 採算が取れる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10) 弁護士すべてが担当すべき義務である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(11) その他の理由（具体的に説明してください）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問11-1-2-1. 問11-1-2の(2)で①（当てはまる）または②（どちらかといえば当てはまる）と回答された方にお聞きします。あなたは、刑事分野にかなりの時間を費やしており、かつ刑事分野について「人権問題として興味・関心」があるということですが、その興味・関心が生まれたのはいつですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 高校時代またはそれ以前
- 2 大学時代
- 3 法科大学院での刑事法関係授業（講義・演習など）
- 4 法科大学院での臨床科目（クリニック・インターンシップ・シミュレーションなど）

- 5 司法試験予備校で
- 6 司法修習で
- 7 弁護士登録後の先輩弁護士との交流
- 8 その他（具体的に記入してください）

問11-1-2-2. 問11-1-2の(3)で①（当てはまる）または②（どちらかといえば当てはまる）と回答された方にお聞きます。あなたは、刑事分野にかなりの時間を費やしており、かつ刑事分野について「必要とされる技能について興味、関心」があるということですが、のはいつですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 高校時代またはそれ以前
- 2 大学時代
- 3 法科大学院での刑事法関係授業（講義・演習など）
- 4 法科大学院での臨床科目（クリニック・インターンシップ・シミュレーションなど）
- 5 司法試験予備校で
- 6 司法修習で
- 7 弁護士登録後の先輩弁護士との交流
- 8 その他（具体的に記入してください）

ブロック 12

問12. あなたは現在（この調査への回答時点）、刑事分野について定期的に受けている研修がありますか（5年ごとの「倫理義務研修」は除きます）。当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 ある
- 2 ない

問12-1. 問12で「1」（ある）と回答された方にお聞きます。それはどのような研修ですか。次の中で、当てはまる番号をすべて選んでください。

- 1 所属弁護士会
- 2 日弁連
- 3 任意団体
- 4 その他（具体的に記入してください）

ブロック 13

問13. あなたは現在（この調査への回答時点）、刑事分野について研修・教育を行う立場に就いていますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 就いている
- 2 就いていない

問13-1. 問13で「1」（就いている）と回答された方にお聞きます。それはどのような立場ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 弁護士会（具体的に記入してください）
- 2 司法研修所教官
- 3 法科大学院教員
- 4 その他（具体的に記入してください）

ブロック 14

問14. あなたは現在（この調査への回答時点）、刑事分野について何らかの委員会等に参加していますか。下記(1)から(4)のそれぞれについて参加の有無をお答えください。それぞれにおいて複数の委員会等がある場合には、あなたがもっとも熱心に活動しているものを1つ記入してください。

- 1 参加あり（名称を記入） 2 参加なし
- (1) 所属弁護士会の委員会等 ○

- | | 1 参加あり（名称を記入） | 2 参加なし |
|------------------|---------------|-----------------------|
| (2) 弁連の委員会等 | | <input type="radio"/> |
| (3) 日弁連の委員会等 | | <input type="radio"/> |
| (4) 弁護士が組織した任意団体 | | <input type="radio"/> |

- 1 増やしたい
- 2 どちらかといえば増やしたい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば減らしたい
- 5 減らしたい

ブロック 15

問15. あなたは今後、「刑事弁護」の業務を増やしたいと考えていますか、減らしたいと考えていますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 増やしたい
- 2 どちらかといえば増やしたい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば減らしたい
- 5 減らしたい

問15-1. 問15で「1」または「2」と回答された方にお聞きします。増やしたい**最大**の理由は何ですか。記入してください。

問15-2. 問15で「4」または「5」と回答された方にお聞きします。減らしたい**最大**の理由は何ですか。記入してください。

ブロック 16

問16. あなたは今後、「犯罪被害者支援」の業務を増やしたいと考えていますか、減らしたいと考えていますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

問16-1. 問16で「1」または「2」と回答された方にお聞きします。増やしたい**最大**の理由は何ですか。記入してください。

問16-2. 問16で「4」または「5」と回答された方にお聞きします。減らしたい**最大**の理由は何ですか。記入してください。

ブロック 17

問17. あなたは、2019年12月31日現在、法テラスと契約していましたか。下記の(1)から(4)の各領域について、契約の有無を選択してください。

	1 契約あり	2 契約なし
(1) 民事法律扶助	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 国選弁護	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 国選付添人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 犯罪被害者支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ブロック 18

問18. あなたが2019年12月31日現在で所属していた弁護士会には、刑事分野について下記の(1)から(6)の受任希望者名簿はありましたか。

- 1 あった 2 なかった 3 不明

	1 あった	2 なかった	3 不明	^
(1) 当番弁護士名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
(2) 国選弁護人担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
(3) 国選付添人担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
(4) 裁判員裁判担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
(5) 犯罪被害者支援担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
(6) その他の名簿 (名称を一つ記入してください)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

問18-1. 問18でお答えいただいた受任希望者名簿について、あなたの登載状況についてお答えください。

	1 登載した	2 登載しなかった
(1-1) 当番弁護士名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2-1) 国選弁護人担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3-1) 国選付添人担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4-1) 裁判員裁判担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5-1) 犯罪被害者支援担当者名簿	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6-1) その他の名簿 (名称を一つ記入してください)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ブロック 19

問19. あなたは、2019年1月～12月の間に、捜査段階で黙秘を勧めたことがありますか。もしあれば、その件数を記入してください。(なければ「0」と記入してください。)

件

<

>

ブロック 20

問20. あなたは、2019年1月～12月の間に、捜査段階での取調べに弁護人の立会いを求めた事件がありますか。もしあれば、その件数を記入してください。(なければ「0」と記入してください。)

件

ブロック 21

問21. あなたは、2019年1月～12月の間に、取調べの録音・録画を行うよう申し入れたことがありますか。もしあれば、その回数を記入してください。(なければ「0」と記入してください。)

回

ブロック 22

問22. あなたは、これまでに「裁判員裁判の公判での弁護」を担当したことがありますか。もしあれば、現在係属中の裁判員裁判を含む経験件数と、公判(公判前手続きの期間を除く)に最も日数を要した事件のおよその期間を記入してください。

経験件数 (件)
(なければ「0」を記入)
公判の最長期間 (日)
(なければ空白)

ブロック 23

問23. あなたは、これまでに「裁判員裁判の公判での被害者参加弁護士」を担当したことがありますか。もしあれば、現在係属中の裁判員裁判を含む経験件数と、公判(公判前手続きの期間を除く)に最も日数を要した事件のおよその期間を記入してください。

経験件数（件）
（なければ「0」を記入）
公判の最長期間（日）
（なければ空白）

（件数）

ブロック 24

問24. あなたは、弁護士登録後これまでに、無罪判決（少年事件における「非行事実なし」を含む）を獲得したことがありますか。審級別に件数を記入してください。一部無罪といわゆる「本文」無罪も含みます。確定・未確定を問いません。（なければ「0」と記入してください。）

（件数）

- (1) 刑事・第一審
- (2) 少年・第一審
- (3) 刑事・控訴審
- (4) 少年・抗告審
- (5) 刑事・上告審
- (6) 少年・再抗告審
- (7) 刑事・再審
- (8) 少年・保護処分取消し

ブロック 25

問25. あなたが、この調査票に回答している時点での刑事分野の手持ち案件についてうかがいます。下記の(1)から(22)の選任分類と手続段階に応じて、件数を記入してください。当てはまる案件がない場合は「0」を記入してください。

（件数）

- (1) 国選弁護 被疑者段階
- (2) 国選弁護 第一審地裁 裁判官裁判の公判前手続
- (3) 国選弁護 第一審地裁 裁判員裁判の公判前手続

- (4) 国選弁護 第一審地裁 裁判官裁判の公判
- (5) 国選弁護 第一審地裁 裁判員裁判の公判
- (6) 国選弁護 第一審簡裁
- (7) 国選弁護 控訴審
- (8) 国選弁護 上告審
- (9) 私選弁護 被疑者段階
- (10) 私選弁護 第一審地裁 裁判官裁判の公判前手続
- (11) 私選弁護 第一審地裁 裁判員裁判の公判前手続
- (12) 私選弁護 第一審地裁 裁判官裁判の公判
- (13) 私選弁護 第一審地裁 裁判員裁判の公判
- (14) 私選弁護 第一審簡裁 公判
- (15) 私選弁護 控訴審
- (16) 私選弁護 上告審
- (17) 国選付添い
- (18) 私選付添い
- (19) 国選被害者支援
- (20) 私選被害者支援
- (21) 再審
- (22) その他（具体的に記入してください）

ブロック 26

問26. 刑事分野の活動について、あなたがとくに高く評価する弁護士がいますか。

もしあれば、最も高く評価する弁護士の御氏名と評価理由を記入したうえで、各人との面識の有無についてお答えください。全くいない場合は無回答で結構です。

(1) 氏名

(2) 理由

(3) 面識の有無

あり/なし

ブロック 27

問27. あなたは、刑事分野の活動について、何らかの形で「他の弁護士との連携」に努めていますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 所属事務所の他の弁護士との協力
- 2 共通の関心を有する弁護士との個人的交流・協力
- 3 共通の関心を有する弁護士の任意団体での交流・協力
- 4 所属弁護士会の関係委員会での交流・協力
- 5 弁護の関係委員会での交流・協力
- 6 日本弁護士連合会の関係委員会での交流・協力
- 7 その他（具体的に記入してください）

ブロック 28

問28. 刑事弁護の将来に関する意見について、あなたの賛否をお尋ねします。下記の

(1)から(5)の各意見についての賛否を選択肢から1つ選んでお答えください。

1 強く賛成 2 賛成 3 どちらともいえない 4 反対 5 強く反対

(1) 刑事弁護は、弁護士資格を有する者なら誰もが担当すべきものだ。

○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○

1 強く賛成 2 賛成 3 どちらともいえない 4 反対 5 強く反対

(2) 刑事弁護は、一定の専門的な刑事弁護研修を受けた者だけが担当すべきものだ。

(3) 裁判員裁判の弁護業務は、専門的な研修と一定の経験を有する者だけが担当すべきだ。

○ ○ ○ ○ ○

(4) 国選弁護を担当した契約弁護士に対しては、行った弁護活動の質を適切に評価する制度を設けるべきだ。

○ ○ ○ ○ ○

(5) 法テラスの常勤弁護士は、契約弁護士よりも高い頻度で国選弁護を担当すべきだ。

○ ○ ○ ○ ○

ブロック 29

問29. 「刑事弁護は、一定の専門的な研修を受けた者だけが担当すべきものだ」という意見に対して、「それでは所属弁護士が少ない単位会や地域では刑事弁護の担い手が不足する」という意見があります。あなたが回答時点で業務を行っている地域の実情はいかがでしょうか。当てはまるものを1つ選んでください。（ここで「地域」とは、あなたが所属する弁護士会本庁または支部とお考え下さい。）

- 1 全く不足する
- 2 不足する
- 3 どちらともいえない
- 4 不足しない
- 5 全く不足しない

ブロック 30

問30. 「裁判員裁判の弁護業務は、専門的な研修と一定の経験を有する者だけが担当すべきだ」という意見に対して、「それでは所属弁護士が少ない単位会や地域では裁判員裁判での弁護の担い手が不足する」という意見があります。あなたが回答時点で業務を行っている地域の実情はいかがでしょうか。当てはまるものを1つ選んでください。（ここで「地域」とは、あなたが所属する弁護士会本庁または支部とお考え下さい。）

- 1 全く不足する`
- 2 不足する
- 3 どちらともいえない
- 4 不足しない
- 5 全く不足しない

ブロック 31

問31-1. 以下の12の業務分野について、「知的・技能的難易度が高いと思う」という評価は、どの程度当てはまるでしょうか。それぞれ、あなたの考えに一番近い回答を1つ選んでください。

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
交通事故（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療事故（患者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療事故（医療機関側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
消費者問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
遺言・相続	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・公害問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
労働問題（労働者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業合併・買収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
知的財産	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
刑事弁護	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少年事件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
犯罪被害者支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問31-2. 以下の12の業務分野について、「社会的意義が大きいと思う」という評価は、どの程度当てはまるでしょうか。それぞれ、あなたの考えに一番近い回答を1つ選んでください。

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
交通事故（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療事故（患者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療事故（医療機関側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
消費者問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
遺言・相続	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・公害問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
労働問題（労働者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業合併・買収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
知的財産	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
刑事弁護	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少年事件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
犯罪被害者支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問31-3. 以下の12の業務分野について、「収益性が高いと思う」という評価は、どの程度当てはまるでしょうか。それぞれ、あなたの考えに一番近い回答を1つ選んでください。

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
交通事故（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療事故（患者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療事故（医療機関側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
消費者問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
遺言・相続	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・公害問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
労働問題（労働者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業合併・買収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
知的財産	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
刑事弁護	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少年事件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
犯罪被害者支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問31-4. 以下の12の業務分野について、「他の多くの弁護士から尊敬されると思う」という評価は、どの程度当てはまるでしょうか。それぞれ、あなたの考えに一番近い回答を1つ選んでください。

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
交通事故（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
医療事故（患者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	1 当てはまる	2 どちらかといえば当てはまる	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば当てはまらない	5 当てはまらない
医療事故（医療機関側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
消費者問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
遺言・相続	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
環境・公害問題（被害者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
労働問題（労働者側）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業合併・買収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
知的財産	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
刑事弁護	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
少年事件	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
犯罪被害者支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ブロック 32

問32. 2020年3月のあなたの確定申告に基づいて、2019年のあなたの収入（売上）を、以下の区分で記入してください。厳密に答えられない場合は、概算でも結構です。（ここで「弁護士業務」とは、ご自身による「弁護士法3条の法律事務取扱い」、「他の弁護士の法律事務取扱いにたいする支援・補助の活動」、並びに「事務所の管理・運営」の全てを含みます。）

(1) 弁護士業務に基づく収入（売上）	0 万円
(2) 弁護士業務以外の収入（売上）	0 万円
合計	0 万円

問32-1. 総収入（売上）に占める刑事分野の割合を記入してください。

%

問32-1-1. 刑事分野の収入（売上）全体を100%として、「国選報酬」と「私選報酬」の比率をパーセンテージで記入してください。

国選報酬

私選報酬

合計

ブロック 33

問33. 2020年3月のあなたの確定申告に基づいて、2019年のあなたの課税所得を記入してください。

万円

ブロック 34

問34. あなたは、現在（この調査への回答時点）弁護士としての職業生活について、一般的にどの程度満足していますか。あてはまる答えを1つ選んでください。

- 1 非常に満足
- 2 やや満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 非常に不満

ブロック 35

問35. あなたは、現在（この調査への回答時点）弁護士としての職業生活において、次の各項目についてどの程度満足していますか。それぞれの項目につき、当てはまる番号を選んでください。

	1 不満足	2 どちらかといえば不満足	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば満足	5 満足
(1) 弁護士としての自分の収入あるいは給与	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 自分の労働時間の管理の自由度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 日常的に従事している業務の内容	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 社会的な地位が高いこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 社会全体における経済的地位が高いこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 社会的責任のある仕事ができること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) 社会的弱者や少数者のために仕事ができること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 他から干渉されずに自由で独立した仕事ができていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9) 弁護士の資格がなければできない仕事ができること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10) 男性も女性も平等に仕事ができること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ブロック 36

問36. あなたは、弁護士としての将来に不安を感じていますか。当てはまる答えを1つ選んでください。

- 1 非常に不安がある
- 2 やや不安がある
- 3 どちらともいえない

- 4 あまり不安はない
- 5 ほとんどあるいは全く不安はない

問36-1. 最大の不安はどのようなものですか。具体的に記入してください。

ブロック 37

【弁護士についてもワークライフ・バランスが議論されていますので、問37から問41では関連事項をおたずねします。】

問37. あなたには配偶者または特定のパートナーはいますか。

- 1 いる
- 2 いない

問37-1. 問37で「1 いる」と答えた方にお尋ねします。配偶者等はどのような職業に就いていますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 弁護士
- 2 裁判官または検察官
- 3 その他の公務員
- 4 民間企業の役員・従業員
- 5 自営業
- 6 その他（具体的に記入してください）
- 7 無職

問38. 現在（この調査への回答時点）生計を共にしているご家族のうちのお子さんの数、介護を要する人の数をご記入ください（いないときは0と記入してください）。同居・別居を問いません。

（人）

うち、同居（人）

- (1) 未就学児童の数
- (2) 小学生の数
- (3) 中学生以上の数
- (4) 介護を要する人の数

問39. あなたの現在（この調査への回答時点）の生活状況において、帰宅後に家事や育児・介護などの時間がとりにくいということがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 当てはまる
- 2 少し当てはまる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり当てはまらない
- 5 当てはまらない

問40. あなたは、現在（この調査への回答時点）、家事・育児・介護に平均的には一日当たりどのくらいの時間をかけていますか。時間数を記入してください。

（時間）

- (1) 家事
- (2) 育児
- (3) 介護

問41. あなたの現在（この調査への回答時点）の生活状況において、下記の質問にお答えください。

(1) 家事・育児・介護などを主として担うのは誰ですか。

- 1 あなた
- 2 配偶者等パートナー
- 3 あなたと配偶者等が平等に

(2) あなたのご家庭において家事・育児・介護などに費やしている時間の全体を100%とした場合、あなたが担当している割合は、どの程度だと思えますか。割合を記入してください。

あなたが担当する時間の割合 _____ %

ブロック 38

【あなたご自身のことをお尋ねします。】

問42. あなたの性別について、当てはまる番号を選んでください。

- 1 男性
- 2 女性

問43. あなたの、2019年12月31日現在の年齢を記入してください。

_____ 歳

問44. あなたの最終学歴は次のどれですか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください

- 1 高等学校卒業
- 2 大学中退
- 3 大学卒業
- 4 大学院（法科大学院以外）中退・修了
- 5 法科大学院中退
- 6 法科大学院修了
- 7 その他（具体的に記入してください）

問45. 最終学歴であるかどうかを問わず、あなたは大学、大学院、あるいは法科大学院に在籍しましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問45-1. 問45で、「1」と解答された方は、在籍した大学、大学院、あるいは法科大学院の名称を記入してください。すべて該当する場合は、すべて記入してください。

名称

大学（学部名まで記入してください）

大学院（研究科名まで記入してください）

法科大学院

問46. あなたは司法試験を受験しましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問46-1. あなたが合格した司法試験の種類は何ですか。次の中から当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 旧司法試験
- 2 新司法試験

問46-1-1. 問46-1.で「2」（新司法試験）と回答された方にお聞きします。あなたが申請した受験資格は何でしたか。次の中から当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 法科大学院の修了
- 2 司法試験予備試験合格

問47. あなたは司法修習を受けましたか。次の中から当てはまる番号を1つ選んでください。

- 1 受けた
- 2 受けていない

問47-1. 修習を受けた方にお聞きます。あなたの修習期を記入してください。

第 期

問47-2. 修習を受けていない方にお聞きます。あなたが弁護士資格を取得した事由は何ですか。記入してください。

問48. あなたが最初に弁護士登録をした年月を西暦で選択してください。一旦登録を抹消してから再登録した場合でも、最初に弁護士登録をした年月を選択してください。

西暦

月

問49. 2019年12月31日現在で所属していた弁護士会を記入してください。

問50. あなたの現在（この調査票への回答時点）の所属弁護士会は、問48で回答された弁護士会と異なりますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問50-1. 現在の所属弁護士会を選択してください。

問51. あなたは、最初の弁護士登録をする直前に就いていたフルタイムの職業（アルバイトは含みません）がありましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問51-1. それはどのような職業でしたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 裁判官
(在職年数を記入してください)
- 2 検察官
(在職年数を記入してください)
- 3 裁判所職員（書記官、事務官等）
- 4 検察事務官
- 5 国家または地方の行政職公務員
- 6 民間企業の職員または役員
- 7 隣接士業
(具体的に記入してください)
- 8 その他
(具体的に記入してください)